

2002年1月21日

**明治生命館で文化財消防演習を実施**  
- 「重要文化財」の火災予防ならびに保護を推進 -

「文化財防火デー」（1月26日）を踏まえ、東京消防庁 丸の内消防署（吉沢 一彦 署長）による消防演習が、1月25日（金）に、明治生命保険相互会社（社長 金子 亮太郎）の本社本館（以下、明治生命館）で実施されます。

「重要文化財」の火災予防ならびに保護推進のための消防演習を、民間企業が日常業務に使用している社屋で実施することは、大変珍しいことです（なお、当社における消防演習は、1998年1月、2000年1月に次いで3回目となります）。

当社は、今後とも洋風建築を代表する歴史的建造物として「重要文化財」に指定されている明治生命館（別紙 ご参照）の維持・保全に努めてまいります。

**文化財消防演習実施要領**

- 1．日時：1月25日（金）午前9時40分～10時30分
- 2．場所：明治生命館 日比谷通り側  
東京都千代田区丸の内2丁目1番1号（別紙 地図ご参照）
- 3．訓練内容
  - ア．梯子車2台による救出訓練（本館8階日比谷通り側を出火場所と想定）
  - イ．ポンプ車2台、梯子車2台、当社自衛消防隊による放水訓練
- 4．その他
  - ア．演習内容の説明を明治生命館の北側通用口前で9：20から行ないます。
  - イ．自社腕章をご着用ください。
  - ウ．少雨決行といたしますが、ご不明な点はお問い合わせください。
  - エ．取材時の事故防止には十分ご注意ください。

### 明治生命館の歩み

明治生命館は、ネオ・ルネッサンス様式のオフィスビルとして、1934年（昭和9年）3月に竣工しました。本館の建設は、当時の学会の重鎮であり、東京美術学校（現東京芸術大学）教授であった岡田信一郎氏の設計により、3年7ヶ月の歳月、当時としては最高の技術と資材を投じて行なわれました。

その後、東京大空襲、1946年（昭和21年）から1956年（昭和31年）までの米軍の極東空軍司令部による接收、対日理事会（日本の占領政策についての連合国最高司令官の諮問機関、4ヶ国の協議機関）の開催など、昭和の激動期をのりこえ、今日まで保存されてきました。

当社では歴史的建築物の保存と活用を実践し、皇居前の風格ある景観を守っていききたいとの願いから、明治生命館を全面保存することとしました。

### 重要文化財の指定

1997年（平成9年）3月21日、当時、文部大臣の諮問機関である文化財保護審議会で答申が行われ、同5月29日、「大正から昭和初期の洋風意匠を取り入れた建築物を代表するもので、建物の意匠が内外とも優れている」（文部省告示第98号）との指定基準に基づいて「重要文化財」に指定されました。

### 建物概要

鉄骨鉄筋コンクリート造 地上8階地下2階建て

建築面積 4,736㎡

延床面積 43,669㎡

### 会社概要

創 業 1881年（明治14年）7月9日

総 資 産 17兆4,694億円

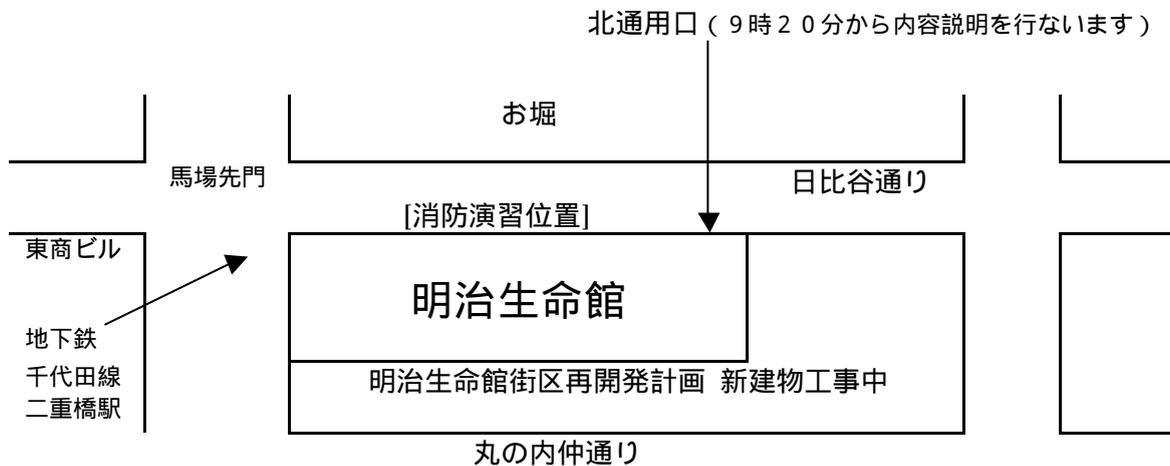
従業員数 39,196人<うち営業職員30,309人>（2001年3月末現在）

### 明治生命館街区再開発計画

当社では、現在、明治生命館を全面保存するとともに、隣接地を含む街区を再開発して本社機能とテナント賃貸をあわせ持つ新建物を建設する「明治生命館街区再開発計画」を、2004年8月竣工予定で推進中です。

以上

< 現地地図 >



住所：千代田区丸の内2丁目1番1号  
担当：企画部 弘報グループ <sup>とがみ</sup>戸上 03(3283)8054  
          総務部 総務課 <sup>めつき</sup>目次 03(3283)9232

< ご参考 >

**「文化財防火デー」について**

1949年(昭和24年)1月26日早朝、奈良の法隆寺で、解体修理中の金堂が火災になり、白鳳時代(7世紀末から8世紀初期)に描かれた十二面壁画が焼損し、社会的に大きな衝撃を与えました。

その後も文化財の火災が発生したため、先人たちが残した文化財を守ろうという世論が高まり、1950年(昭和25年)に文化財保護法が制定され、1955年(昭和30年)からは、消防庁と文化庁の提唱により法隆寺金堂が焼損した日である1月26日を「文化財防火デー」とし、防火施設の点検と整備を行うとともに、消防演習など文化財防火運動を全国で展開することとしました。

以上